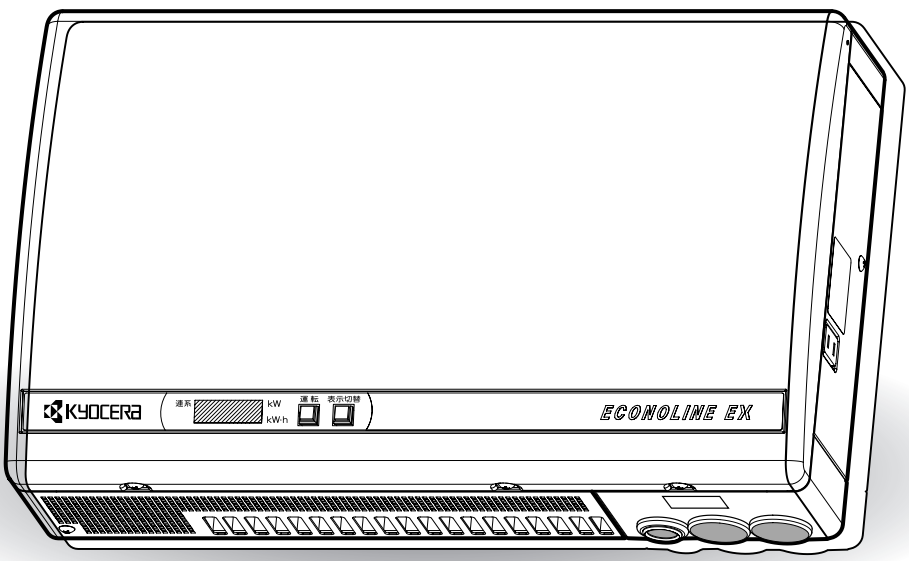
KYOCERA

京セラソーラー発電

住宅用ソーラー発電システム

パワーコンディショナ取扱説明書

エコノラインEX
PVN-403F



このたびは、京セラ住宅用ソーラー発電システム用パワーコンディショナ　エコノラインEX　PVN-403F　をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
このパワーコンディショナ取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。
尚、システム全般に関する取扱方法については、別途システム取扱説明書をご覧ください。

特長

▶コンパクトで高効率なパワーコンディショナです※

トランス（変圧器）を使用しないので、コンパクトで高効率なパワーコンディショナです。

▶太陽電池の漏電を監視します

太陽電池の漏電を検出すると、自動的に回路を遮断し、感電を防ぎます。

▶低騒音設計です※

自然冷却方式を採用しており、耳ざわりな冷却ファンの風切り音がありません。

▶太陽電池の発電エネルギーを最大限に取り出します

温度や日射量によって変化する太陽電池特性に対して、適切な運転を行って、発電エネルギーを最大限に取り出します。

▶日常の操作は不要です

「連系運転」にしておくと、日射に応じて自動的に運転／停止します。

▶発電した電力量がわかります

これまでに発電した電力量を表示するので、これに電力単価をかけるだけでシステムで発電した概算の電気代がわかります。
リセット可能な積算電力量を表示するので、一定期間の発電電力量が簡単にわかります。

▶自立運転機能付きです

自立運転に切り替えることにより停電のときでも太陽電池が発電していれば、自立運転出力用コンセントおよび本体より別途配線した自立運転専用コンセントから（設置工事を行った場合）電力を得られます。
（最大 1500W）

▶夜間表示機能付きです

表示切替ボタンを押すことにより、瞬時最大発電電力・総積算電力量・ユーザー積算電力量を夜間でも確認できます。

▶瞬時最大発電電力表示機能（ピーク発電表示機能）付きです

装置が起動し始めてから確認時までの発電電力のピーク値を表示します。尚、ピーク値は毎朝リセットされます。
夜間は、その日の最大発電電力を確認できます。

※ 詳しくは仕様（18ページ）をご覧ください。

もくじ

安全のため必ずお守りください …… 3
各部のなまえとはたらき …… 6

通常時の使い方（連系運転）…… 7
停電時の使い方（自立運転）…… 8
復電時の操作 …… 9
運転を止める …… 10
表示部に表示される内容 …… 11
瞬時最大発電電力を表示するには …… 12
積算電力量を表示するには …… 12

こんなときは …… 14
　ブザーが鳴ったとき …… 14
　万一煙が出ていたり、異常音や変な臭いがする場合は（非常時の処置）…… 14
　自立運転中に装置が停止したとき …… 14
　機器が発生する音について …… 14
異常（点検）コードが表示されたとき …… 15
点検とお手入れ …… 16
保証とアフターサービス …… 17
仕様 …… 18
外形寸法 …… 18

安全のため必ずお守りください

■本パワーコンディショナは、ソーラー発電システム以外の用途には使用しないでください。
■ご使用の前に、この「安全のため必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
■お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。
■システム全般に関しては、システム取扱説明書をご覧ください。

ここに示した事項は、⚠**警告** ⚠**注意**に区分しています。

⚠**警　告**	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠**注　意**	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

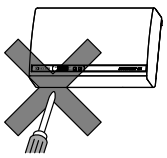
絵表示については次のような意味があります。

マークは**「禁止」**	マークは**「強制」**	マークは**「注意」**
接触禁止	アース（接地）工事	感電注意
分解禁止		

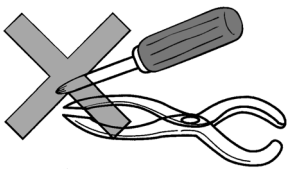
⚠警告

■装置の取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社または専門業者に依頼する
●不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。

■装置のカバーを開けない
●内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



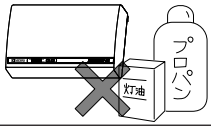
■装置の分解・改造をしない
●感電や傷害を負う恐れがあります。



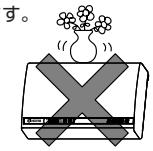
■装置に接続される漏電遮断器は、逆接続可能型を必ず使用する
●感電・火災の原因となります。

■子供を近づけない
●感電や傷害を負う恐れがあります。

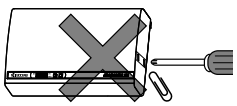
■可燃性ガスや引火物を近くに置かない
●電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。



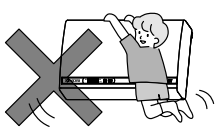
■装置の上や上部に花びん、植木鉢などの液が入った容器を置かない
●液体がこぼれて内部に入った場合、火災・故障の原因となります。



■装置の自立運転出力用コンセント、通風孔などから物（金属、紙、水など）を差込んだり中に入れたりしない
●火災・感電・故障の原因となります。



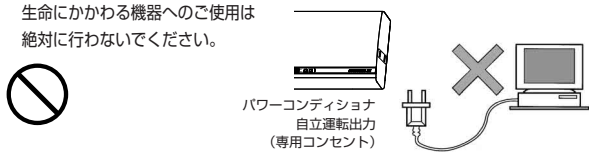
■装置の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せたりしない
●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。



⚠警告

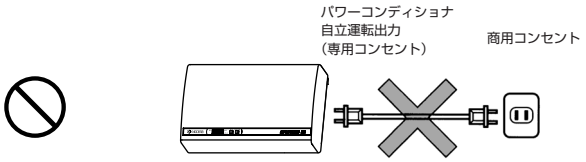
■自立運転出力用コンセントおよび本体より別途配線した自立運転専用コンセントには、途中で電源が切れると困る電気製品は接続しない

●夜間や、雲などで発電電力が不足すると装置は停止し、電気製品の電源が切れます。パソコンなどではデータを破損する恐れがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器へのご使用は絶対に行わないでください。



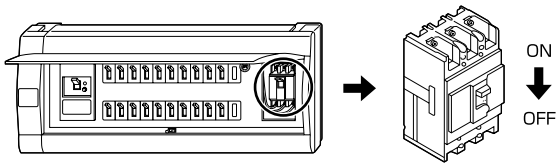
■自立運転出力用コンセントおよび本体より別途配線した自立運転専用コンセントは、商用コンセントへの接続は絶対に行わない

●火災等の原因になります。



■もし、煙がでていたり、変なにおいがする場合は、すぐに装置の運転スイッチを『切』にし、外部のサービスブレーカを『OFF』にする

●そのまま使用すると、火災の原因となります。販売会社にご連絡ください。



●分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

⚠注意

■アース工事を行う（D種接地工事）

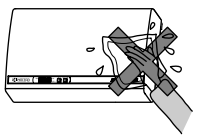
●アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

■自立運転機能では、負荷によって使用できないものがある

●ポンプやモーター等起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。

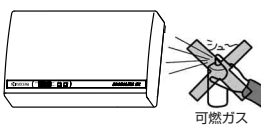
■ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない

●感電の原因となることがあります。



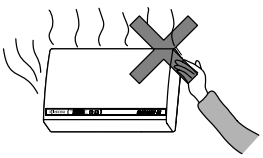
■装置の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない

●引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



■装置の左側面や上部にふれない

●運転中は温度が高くなり、やけどの原因となることがあります。

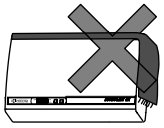


■雷が激しい場合は装置の運転スイッチを『切』にする

●機器が破損する恐れがあります。

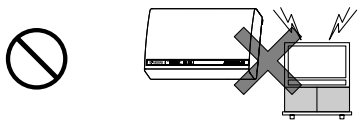
■装置の上下にある通風孔をふさがない

●装置の温度が上昇し、発電を中止したり、火災・故障の原因となることがあります。

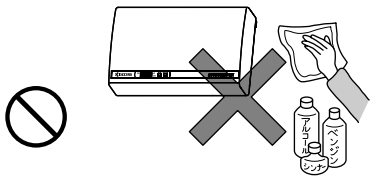


取扱上のお願い

■装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない
- ●テレビの画面が乱れたり､ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。
- ●受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。



■シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
- ●装置の変色の原因となります。



■４年に一度、定期点検を受ける（有料）
- ●お買い上げの販売会社にご依頼ください。

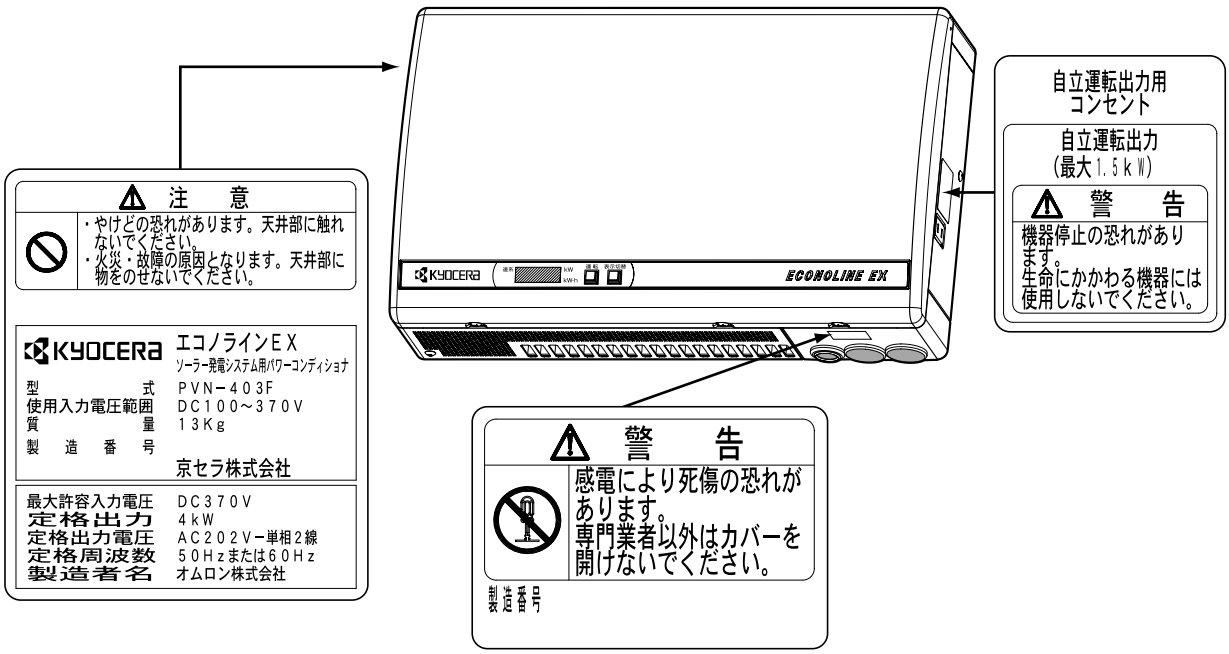
※弊社提携ハウスメーカーにてご購入のお客様へ
保証・定期点検に関する内容につきましては、提携ハウスメーカーの条件によるものとさせて頂いており､記載内容とは異なっております。
詳しくは、提携ハウスメーカーへご確認ください。

■屋内に設置する
- ●温度　－10～＋40℃
- ●湿度　最大85％（結露なきこと）
- ●雨漏りのない所に設置すること

■住宅の居間・寝室・書斎のような騒音について厳しい制約をうける場所には取り付けない

注意ラベル表示

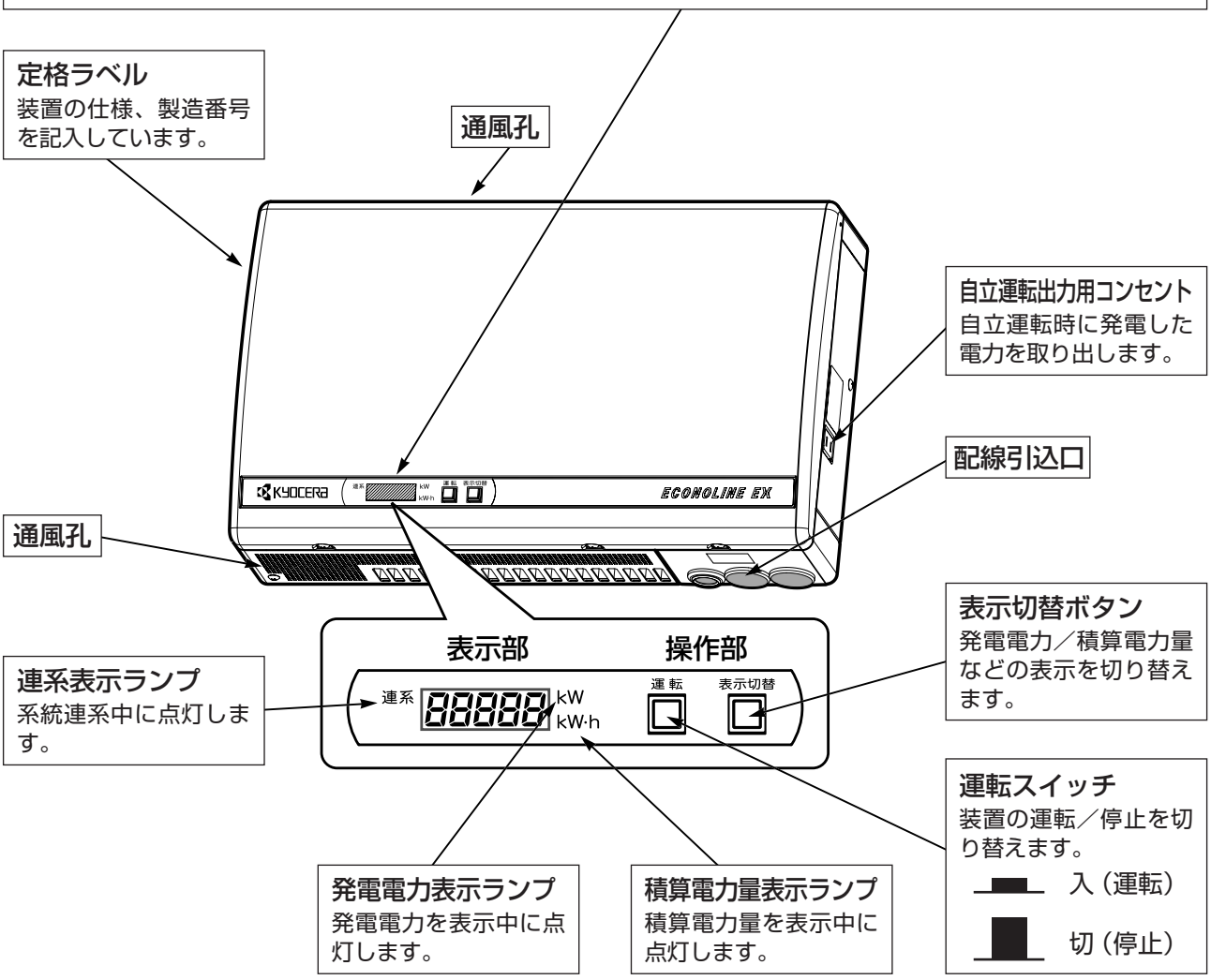
以下の警告ラベル、注意ラベルが装置に貼り付けてあります。ラベルが汚れたり紛失したときは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。



各部のなまえとはたらき

装置本体

表示・操作部
通常運転中は発電電力または瞬時最大発電電力／総積算電力量／ユーザー積算電力量を表示します。
点検が必要な時は、状態に応じた異常（点検）コードを表示します。
なお、夜間は表示が消えますが、表示切替ボタンを押すことにより、瞬時最大発電電力／総積算電力量／ユーザー積算電力量を夜間でも確認できます。
詳しくは「表示部に表示される内容（11、12、13ページ）」をご参照ください。



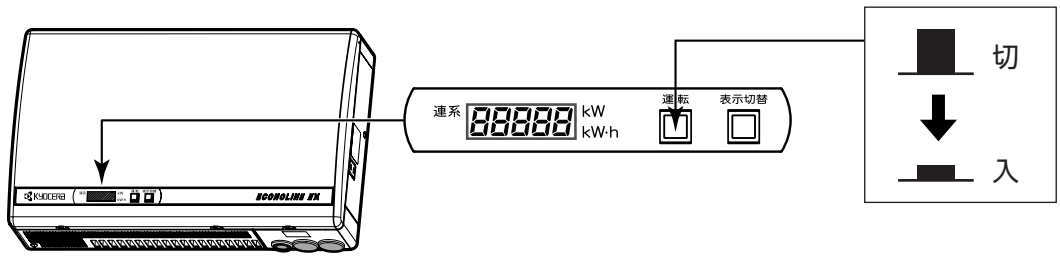
警報ブザー内蔵
環境や状況の変化により、装置内部の警報ブザーが鳴ることがあります。
詳しくは14、15ページをご参照ください。

本製品は、お客様の使用環境により、異常（点検）コード（E□□、F□□など）を表示することがあります。これは家庭内電源の乱れや機器の保護機能が動作したことを示すもので、機器自体の故障ではありません（環境が正常に戻れば、自動的に運転を再開します）。
ただし頻繁に異常（点検）コードを表示するときや、異常（点検）コードを表示したまま自動的に運転を再開しないときは、機器の調整が必要な場合がありますので、お買い上げいただきました販売会社にご連絡ください。
詳しくは、14、15ページをご覧ください。

通常時の使い方（連系運転）

太陽電池で発電した電力を住宅用分電盤に供給します。発電量が多いとき（晴天時の昼間）は家庭内の電気製品で使い切れずに余った電力を電力会社に売り（売電）、発電量の少ないとき（雨・曇天日）や夜間は不足分を電力会社から買います（買電）。

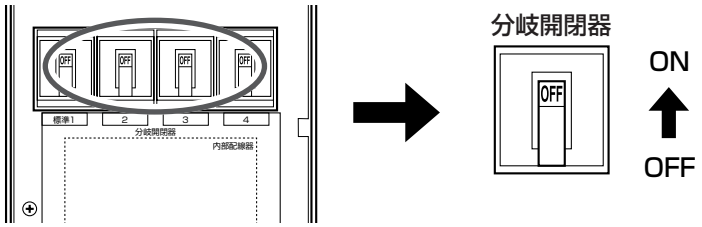
1 運転スイッチを「入」にすると連系運転を開始し、「切」にすると連系運転を停止します
通常は「入」の状態にしておいてください
この状態で、夕方に日射がなくなれば自動的に停止し、翌朝は自動的に運転を開始します



数分後、連系表示ランプが点灯して、発電を開始します。

連系運転を開始するためには、以下の準備が必要です。（初めて連系運転を開始するときに専門業者が行います。通常は操作する必要はありません。）

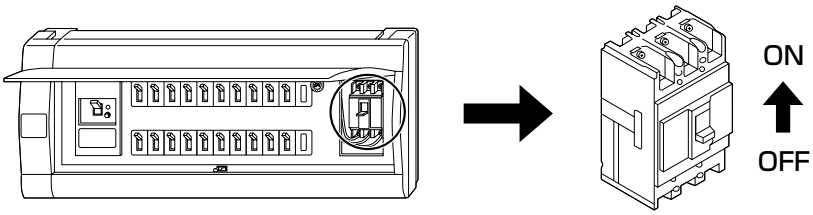
1 接続ユニットの分岐開閉器を全て「ON」にする



※接続ユニットについての詳細はシステム取扱説明書をご覧ください。

・分岐開閉器を全て「ON」にすると、表示部に“ . ”が表示されます。
・接続ユニットの形状が異なる場合があります。
・接続ユニットに主開閉器がある場合は主開閉器のみを「ON」にします。

2 外部のサービスブレーカを「ON」にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

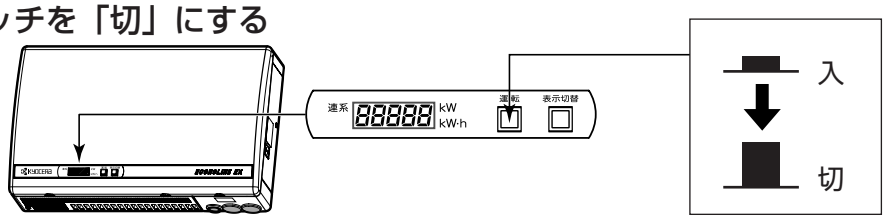
・外部のサービスブレーカを「ON」にしてから2.5～5分間は発電を開始しませんが異常ではありません。その間、表示部は“運転開始までの残り時間（秒）”を表示します。

停電時の使い方（自立運転）

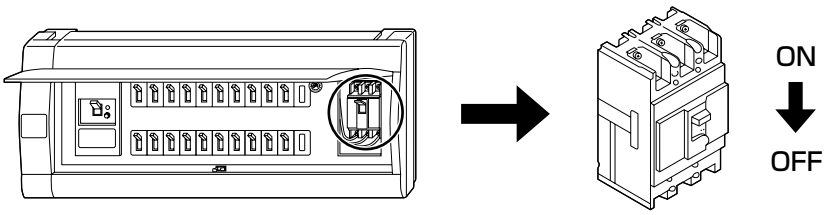
停電の時でも日照があればパワーコンディショナを運転させ、発電した電力を自立運転出力（専用コンセント、自立運転出力端子台）に供給（AC100V、最大 1500W［出力合計］）します。ただし、日照条件により発電量が少ない場合は 1500W まで使用できないことがあります。

連系運転から自立運転に切り替える

1 運転スイッチを「切」にする



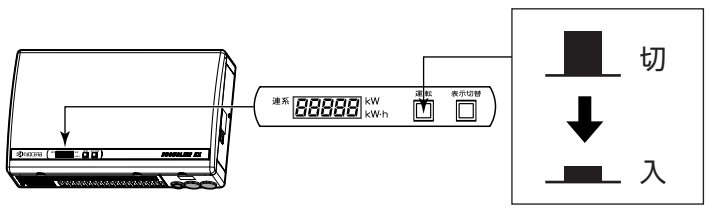
2 外部のサービスブレーカを「ＯＦＦ」にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 運転スイッチを「入」にする

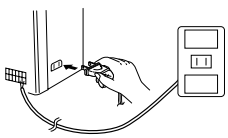
切り替え操作の際は、運転スイッチ「切」から１秒以上おいて運転スイッチを「入」にしてください。
※切り替え操作（「切」→「入」）の時間が短い（１秒以内）場合、「E0」を表示することがあります。



連系運転から自立運転に切り替えたとき、数秒～１分程度たった後に発電を開始します。
その間、表示部は“－－－”を点滅表示し、自立運転待機中であることを示します。

4 使用する電気製品を自立運転出力用コンセントに接続する

自立運転出力(パワーコンディショナ側面の専用コンセントおよび、自立運転出力端子台に接続された専用コンセント〔別途設置工事を行った場合〕)に家庭内の電気製品の電源プラグを直接差し込んでください。



注：出荷時パワーコンディショナは電源周波数 60Hz 設定となっています。50Hz で出力する場合は、一度 50Hz の系統へ連系させると 50Hz 設定に切り替わります

・負荷によって使用できないものがあります。
・自立運転時の出力電流は合計で最大 15A です。出力できる電流は日射などによりかわります。
・太陽の日射が弱いときに自立運転を行うと電力供給のオン／オフを繰り返したり、停止してしまうことがあります。これは接続した電気製品に供給するだけの発電電力が不足しているためであり、故障ではありませんが電気製品の故障の原因となるため、使用を止めてください。

5 翌日も自立運転を行う場合

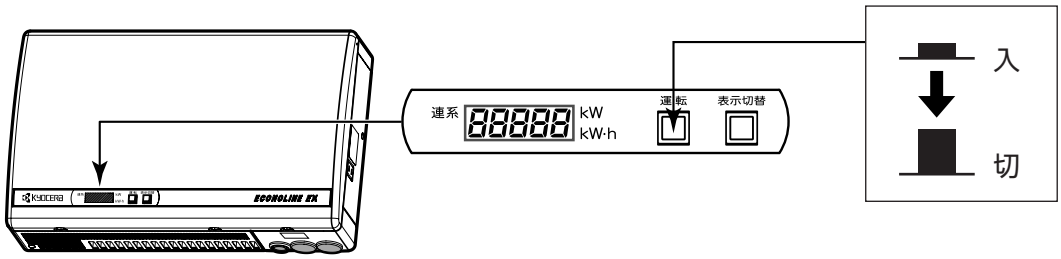
パワーコンディショナの運転スイッチを一度「入」から「切」にし、再度「入」にする。

自立運転を毎日行う場合は、毎日運転スイッチの再操作が必要です。そのままでは出力が出ません。

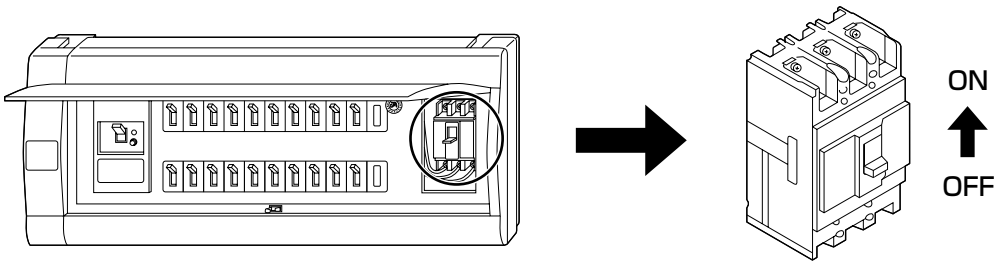
復電時の操作

自立運転から連系運転にもどす

1 運転スイッチを「切」にする

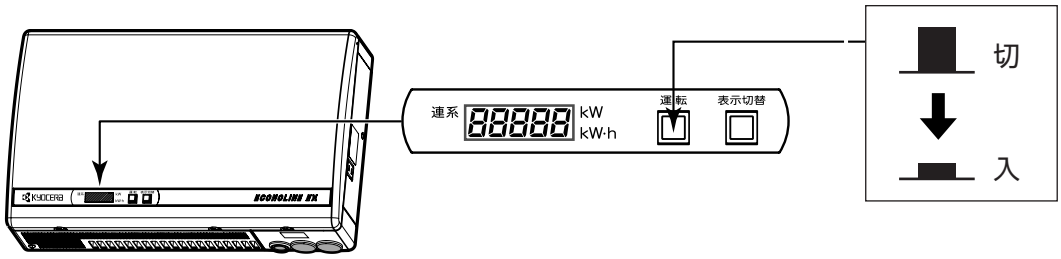


2 外部のサービスブレーカを「ON」にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 運転スイッチを「入」にする

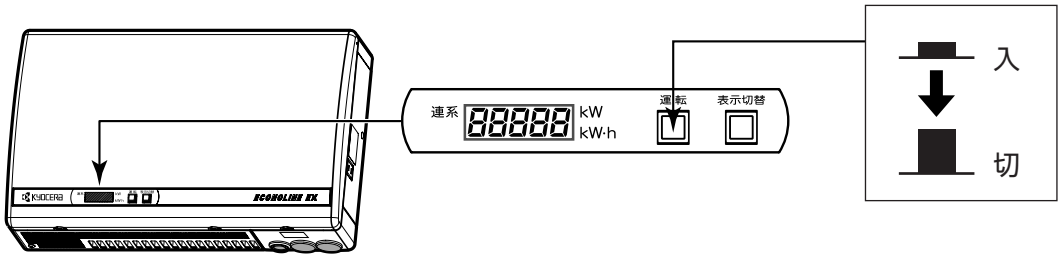


・外部のサービスブレーカを「ON」にしてから2.5～5分間は発電を開始しませんが異常ではありません。その間、表示部は“運転開始までの残り時間（秒）”を表示します。

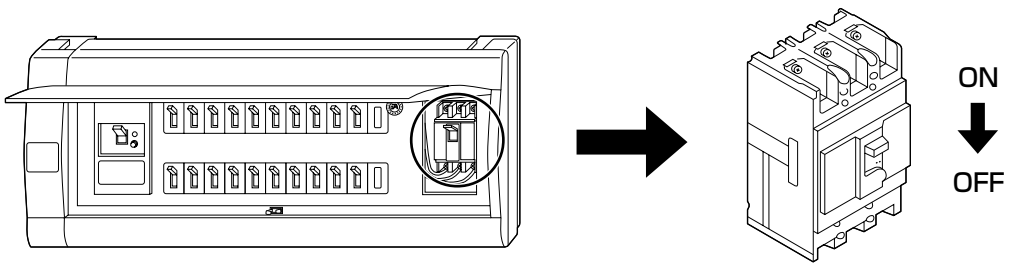
運転を止める

お客さまのご都合などにより運転を停止したい場合は、下記の操作を行ってください。

1 運転スイッチを「切」にする



2 外部のサービスブレーカを「ＯＦＦ」にする

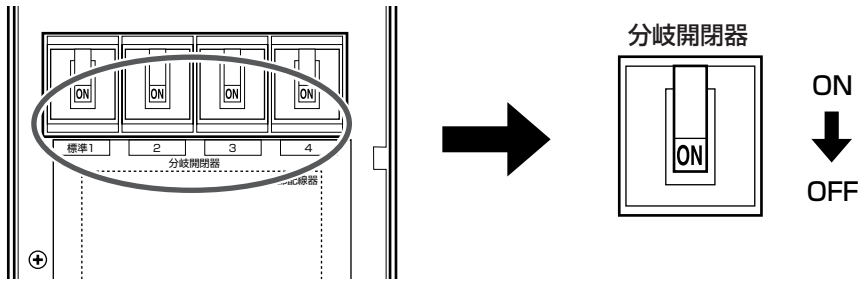


※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

・連系運転時は、運転スイッチを「切」にするだけでも運転は停止しますが、より安全にお使いいただくために、外部のサービスブレーカを「OFF」にしてください。
また、非常時など、販売会社から依頼があったときには、接続ユニットの主開閉器を「OFF」にしてください。（主開閉器がある場合）

3 ※通常は、専門業者におまかせください。

接続ユニットの分岐開閉器を全て「ＯＦＦ」にする



・接続ユニットの形状が異なる場合があります。
・接続ユニットに主開閉器がある場合は主開閉器を「OFF」にします。

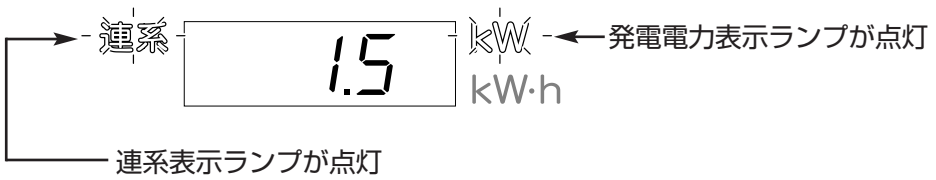
表示部に表示される内容

装置の状態によって、次のように表示します。

■連系運転中

通常は現在の発電電力を表示します。

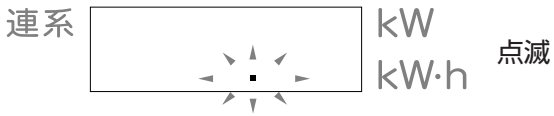
例）1.5k W発電中のとき



■連系運転待機中の表示

（朝夕等の日射が小さく、運転スイッチが「入」の状態における表示）

表示部に“ . ”が点滅します。



■夜間の表示

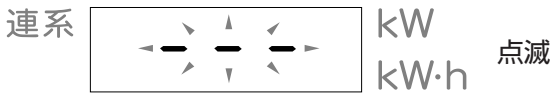
表示は消えます。瞬時最大発電電力、総積算電力量、ユーザー積算電力量は保存されます。
表示切替ボタンを押すことにより、瞬時最大発電電力、総積算電力量、ユーザー積算電力量を夜間でも確認できます。

■自立運転発電中の表示

表示部に“－－－”が点灯します。

■自立運転待機中の表示

表示部に“－－－”が点滅します。

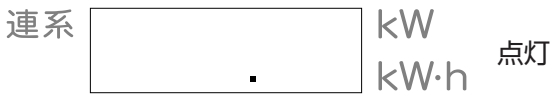


■異常（点検）時の表示

異常（点検）コードを表示します。（15ページをご参照ください）

■運転停止（運転スイッチ「切」）時の表示

表示部に“ . ”が点灯します。

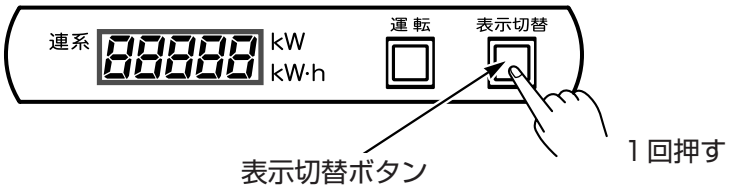


瞬時最大発電電力を表示するには

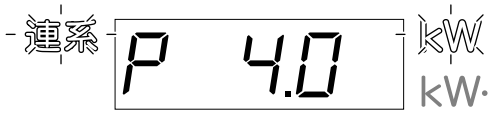
■瞬時最大発電電力の表示のしかた

瞬時最大発電電力とは、「装置が起動し始めてから確認時までの発電電力のピーク値」です。夜間は、その日の最大発電電力を確認できます。

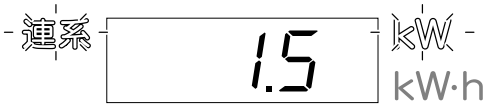
①発電電力を表示中に、
　表示切替ボタンを１回押す。



瞬時最大発電電力を約５秒間表示



発電電力の表示にもどる



例）装置の瞬時最大発電電力が 4.0kW のとき

・瞬時最大発電電力は毎朝リセットされます。

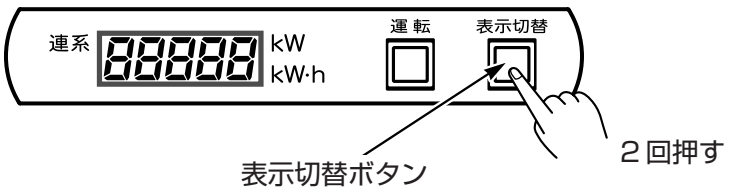
積算電力量を表示するには

積算電力量は、お客様の操作によってリセット（ゼロにすること）ができない総積算電力量と、お客様の操作によってリセットができるユーザー積算電力量の２種類があります。

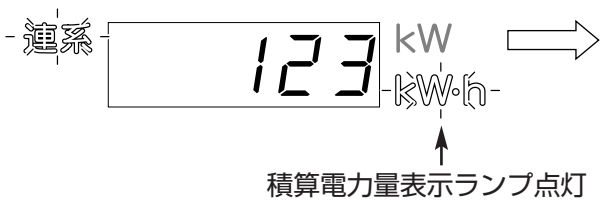
■総積算電力量の表示のしかた

総積算電力量とは、「装置が稼動し始めてから現在まで発電した電力量」の総合計です。

①発電電力を表示中に、
　表示切替ボタンを１回押す。
　瞬時最大発電電力を表示します。
②瞬時最大発電電力を表示中に
　表示切替ボタンをもう１回押す。



総積算電力量を約５秒間表示



発電電力の表示にもどる

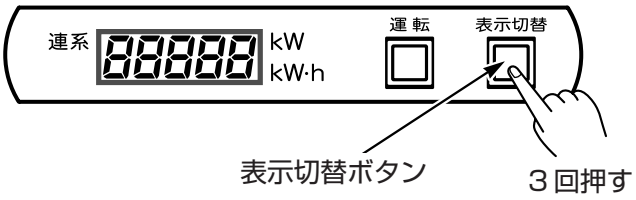
例）装置の総積算電力量が 123kW·h のとき

・お客様の操作によって総積算電力量をリセット（ゼロにすること）はできません。
・総積算電力量は、最大 99999kW·h までで、それを超えると 0kW·h にもどります。

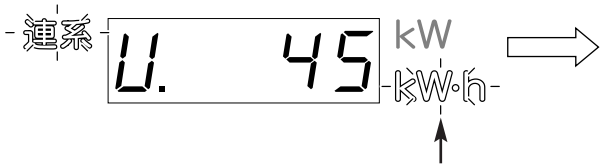
■ユーザー積算電力量の表示のしかた

ユーザー積算電力量とは、「お客様でリセット（ゼロにすること）が可能な積算電力量」です。
週単位、月単位の発電電力量を知るのに便利です。

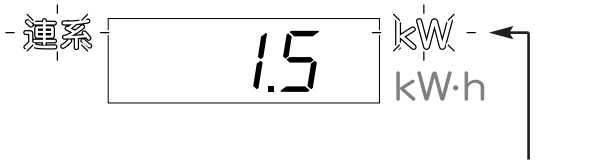
①発電電力を表示中に、表示切替ボタンを１回押す。瞬時最大発電電力を表示します。
②瞬時最大発電電力を表示中に、表示切替ボタンを１回押す。総積算電力量を表示します。
③総積算電力量を表示中に、表示切替ボタンをもう１回押す。



ユーザー積算電力量を約５秒間表示



発電電力の表示にもどる

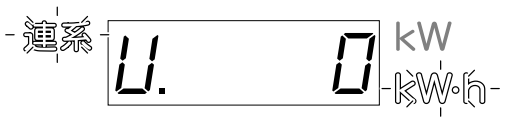


例）前回リセットしてから現在までに 45kW·h 発電したとき

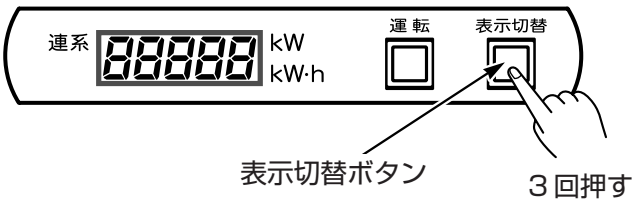
・ユーザー積算電力量は、左端に“U.”をつけた数字４桁で表示し、9999kW·h まで記録できます。
9999kW·h を超えると 0kW·h にもどります。

■ユーザー積算電力量のリセットのしかた

①発電電力を表示中に、表示切替ボタンを３回押す。ユーザー積算電力量を表示します。
②ユーザー積算電力量を表示中に、表示切替ボタンを５秒以上押し続ける。
③ユーザー積算電力量の表示が



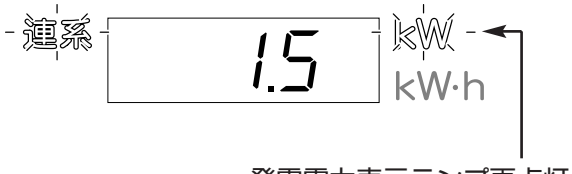
になったら表示切替ボタンを離す。



３回押す
↓
ユーザー積算電力量が表示される
↓
５秒以上押し続ける
↓
表示が「0」になる
↓
離す

リセット直後　　約５秒間表示

発電電力の表示にもどる



こんなときは

ブザーが鳴ったとき

装置のブザーが鳴ったときは、装置の調整が必要となる場合があります。
装置の表示部に表示される異常（点検）コード（15ページ）をご確認のうえ、異常（点検）コードの内容と処置にしたがって、処置してください。

●ブザー音は運転スイッチを「切」にすると止まります。

万一煙が出ていたり、異常音や変な臭いがする場合は（非常時の処置）

「運転を止める（10ページ)」にしたがい、ただちに運転を止めてください。
そのまま使用すると火災の原因となることがあります。

自立運転中に装置が停止したとき

自立運転中に電気の使い過ぎや使用中の電気製品の故障により、自立運転出力用コンセント（自立運転出力端子台に接続されたコンセントを含む）に定格（15A）を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、表示部に異常（点検）コードを表示して、自立運転出力用コンセントへの給電をストップします。

【処　置】
①パワーコンディショナの運転スイッチを「切」にする。
②負荷を減らす。または故障した電気製品を自立運転出力用コンセントから抜く。
③パワーコンディショナの運転スイッチを「入」にする。

●異常（点検）コードは状況により異なります。

機器が発生する音について

装置の異常ではありません。

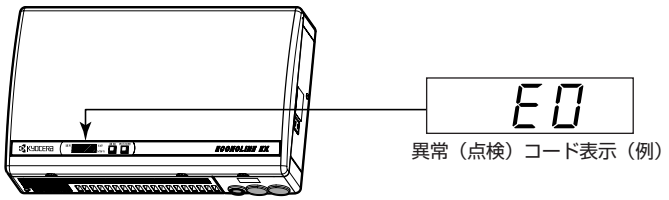
キュー音	制御電源の起動音です。
ジィージィー音	インバーターの高周波スイッチング動作により発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチッ音	連系用リレーの動作音です。（運転開始時と、停止時に発生します）

●なお、キュー音は朝・夕の日射の少ないときや、太陽電池モジュールが降雪・落ち葉などで覆われていると、しばらくの間発生することがありますが故障ではありません。覆っているものを取り除くことなどで音がなくなります。

●運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとって不快に感じる場合があります。

異常（点検）コードが表示されたとき

装置の表示部に異常（点検）コードが表示されたときは、装置の故障などが考えられます。次の表にしたがって処置してください。



異常（点検）コード表示（例）

■異常（点検）コードの内容と処置

	異常(点検)コード	ブザー音	内　容	処　置
パワーコンディショナ等の故障	F0	あり	太陽電池異常（入力過電圧）	運転スイッチを「切」にして、約１分後に運転スイッチを「入」にしてください。それでも異常（点検）コードが表示されるときは、運転スイッチを「切」、外部のサービスブレーカを「OFF」にしてお買い上げの販売会社にご連絡ください。
	F5	あり	装置異常（出力過電流）	
	F6	あり	装置異常（直流分流出）	
	F8	あり	装置異常（検出器異常）	
	F2	あり	太陽電池の漏電	運転スイッチを「切」にして、約１分後に運転スイッチを「入」にしてください。それでも再度漏電を検出するときは、運転スイッチを「切」の状態にしてお買い上げの販売会社にご連絡ください。
	F4	あり	装置内部温度の異常上昇	①運転スイッチを「切」にする。 ②本体上面、下面の通風孔を点検する。 ●通風孔が物やほこりでふさがれている場合 1) 物やほこりを取り除く。 2) 30 分経過してから、連系運転を始める。 ●通風孔がふさがれていない場合 30 分以上経過してから、再度運転スイッチを「入」にしても異常（点検）コードが表示されるときは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
故障ではありません	E0	なし	停電中、またはブレーカ切れ	①停電中の場合 停電が回復するまで待つ。 ②停電中でない場合 パワーコンディショナに接続されている漏電遮断器およびサービスブレーカを「ON」にする。
	E1～ E10	なし	家庭内電源の乱れなど（運転一時停止） 解除されれば自動的に運転を再開します	系統が正常に戻るまでお待ちください。 系統が正常に戻ると、数秒～５分後に運転を再開します。 ２～３日間この状態が続くようでしたら、何らかの異常が考えられますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

その他	パワーコンディショナの作動音	起動時や発電出力が大きくなると、パワーコンディショナの作動音が少し大きくなりますが、異常ではありません。異常に大きい場合は、運転スイッチを「切」、外部のサービスブレーカを「OFF」にしてお買い上げの販売会社にご連絡ください。
	雷による停止	雷の異常電圧でパワーコンディショナが直流漏電検知し、「F2」で停止した場合は上表の「F2」の処理にしたがって処置してください。

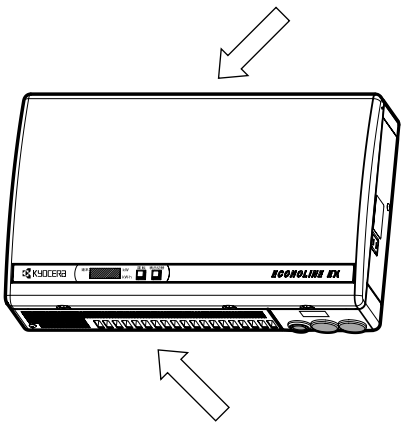
・ブザー音は運転スイッチを「切」にすると止まります。
・上の表にしたがって処置しても異常（点検）コードが消えないときは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
・上の表以外の異常（点検）コードが表示されたときは、装置の故障が考えられますので、運転スイッチを「切」、外部のサービスブレーカを「OFF」にしてお買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検とお手入れ

■日常点検

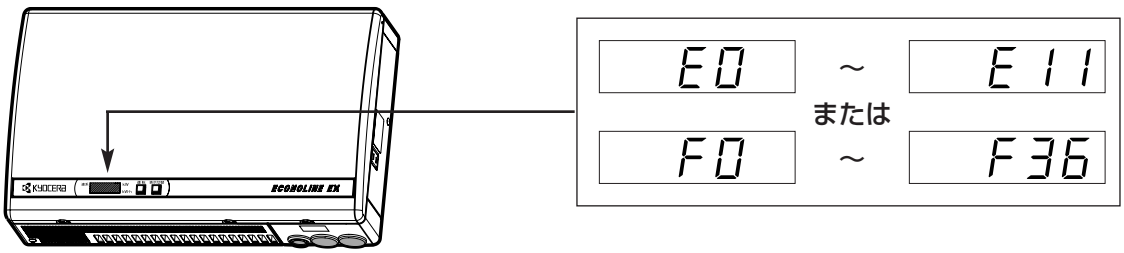
事故を防止するために下記の点検を必ず行ってください。

1．装置上下両方の通風孔がほこりや異物によってふさがれていないか。



装置上下両方の通風孔にほこりが積もっていたり、異物が詰っていた場合には、パワーコンディショナの運転を止めて（10ページ参照）掃除機等でほこりや異物を取り除いてください。
汚れ防止のため、日常のお手入れを行うことをおすすめします。乾いたきれいな布でほこりやゴミを払い落としてください。

2．頻繁に異常（点検）コード（“E0”～“E11”，“F0”～“F36”コード）を表示していないか。



異常（点検）コードが表示されたら、「異常（点検）コードが表示されたとき（15ページ）」にしたがって処置してください。

■定期点検

設置後１年次点検（無償）および４年毎に定期点検（有償）を行ってください。点検実施の際には、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

※弊社提携ハウスメーカーにてご購入のお客様へ

保証・定期点検に関する内容につきましては、提携ハウスメーカーの条件によるものとさせて頂いており、記載内容とは異なっております。詳しくは、提携ハウスメーカーへご確認ください。

■風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、あらかじめパワーコンディショナの運転を止めてください。（10ページ参照）

また、水没した場合には、パワーコンディショナの運転を止めた状態でお買い上げの販売会社までご連絡ください。

地震の場合は、被害状況に応じて、販売会社までご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
保証書は、弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。
注：上記の記載がない場合に無効となることがあります。
※弊社提携ハウスメーカーにてご購入のお客様へ
保証・定期点検に関する内容につきましては、提携ハウスメーカーの条件によるものとさせて頂いており、記載内容とは異なっております。詳しくは、提携ハウスメーカーへご確認ください。

アフターサービスについて

●ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

●修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- お買い上げ時期
- 装置の型式と製造番号（装置左側の定格ラベルまたは装置下側の配線端子部カバーの警告ラベルに表示）
- 故障の状況（異常（点検）コード、故障発生時の時間と天候など）

●補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後 10 年です。

●移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

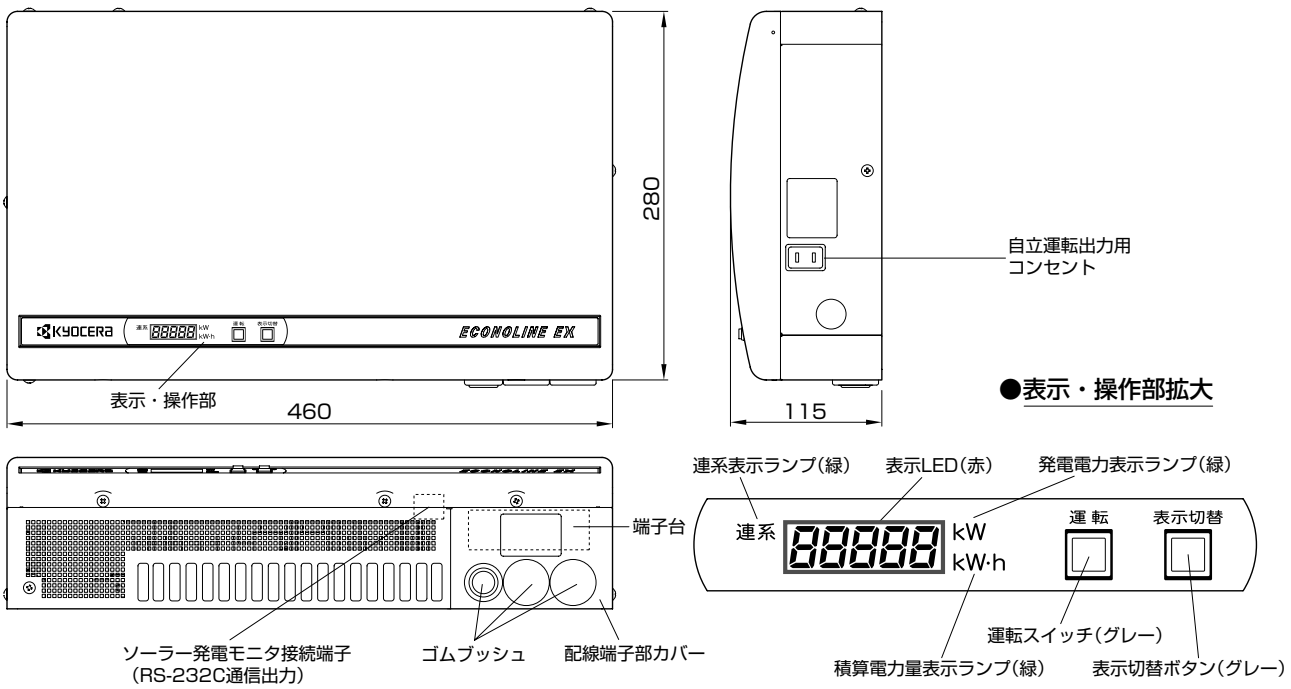
仕様

品　名（型式）		エコノライン EX※1（PVN－403F）
定格入力電圧		DC250V
入力運転電圧範囲		DC100V～DC370V
定格出力電圧・周波数		AC202V、50Hz／60Hz（AC101V、50Hz/60Hz［自立運転］）
定格出力容量※3※4		4.0kW（1500W［自立運転］）
電力変換効率		94.0％※2（定格出力時）
出力基本波力率		0.95 以上
出力電流ひずみ率		総合５％以下、各次３％以下
騒音（A 特性）※5		40dB 以下（装置正面 1 mにて）
外形寸法		W460mm × H280mm × D115mm
質量（本体のみ）		13kg
使用温度範囲		－10℃～＋40℃
使用湿度範囲		85％以下（結露のないこと）
主回路方式	インバータ方式	電圧型電流制御方式
	スイッチング方式	PWM方式
	絶縁方式	トランスレス
	電気方式	単相２線式（単相３線配電線に連系）
保護機能	連系保護機能	交流過電圧、交流不足電圧、系統周波数上昇、系統周波数低下
	単独運転検出	受動的方式、能動的方式

※1 「エコノライン」は京セラ株式会社の登録商標です。
※2 JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。
表記の値は温度上昇試験直後の値であり、起動直後の測定より換算したものです。
※3 装置周囲の温度が約 30℃以上に上昇した場合、内部の安全装置が作動して出力を制限することがあります。
※4 連系運転時にお客様が契約されています電力会社の系統電圧が高い場合、装置の出力を制限します。また、さらに系統電圧が高くなると“E8”を表示して装置の出力を停止することがあります。
※5 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとって不快に感じる場合があります。

外形寸法

単位：(mm)



愛情点検	長年ご使用の住宅用ソーラー発電システムの点検を！
	このような症状はありませんか ● 発電量が少なくなったとき ● 漏電遮断器が自動的に「切」になるとき ● 正しい使用方法にしたがって使用していても不明な点があるとき このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず、販売会社に点検をご相談ください。

株式会社 京セラソーラーコーポレーション	
修理・アフターメンテナンスのご用命は、「弊社専用ダイヤル」へ	0120-71-9006（無料）　24時間受付 土曜・日曜・祝日も受け付けております。

KYOCERA

京セラ株式会社
ソーラーエネルギー事業本部

株式会社 京セラ ソーラーコーポレーション
京都市伏見区竹田鳥羽殿町6　京セラ本社ビル10階　〒612-8450

●この取扱説明書はリサイクルペーパーを使用しています。　6C-117167-1